

クラウド型360度評価支援システム「スマレビ for 360°」

メジャーバージョンアップ Ver.3.0 のお知らせ

動画プログラムや組織レポートの提供で組織単位の分析と人材育成サポートを強化

HRサーベイクラウドシステムの開発・販売事業を展開する株式会社シーベース（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：深井 幹雄）は、当社が開発するクラウド型360度評価支援システム「スマレビ for 360°」のメジャーバージョンアップデート Ver.3.0を公開しました。自律的な学習をサポートする動画機能や、組織単位で360度評価の結果を集計・分析する機能が加わり、組織課題の分析、人材育成支援するサービスが充実しました。

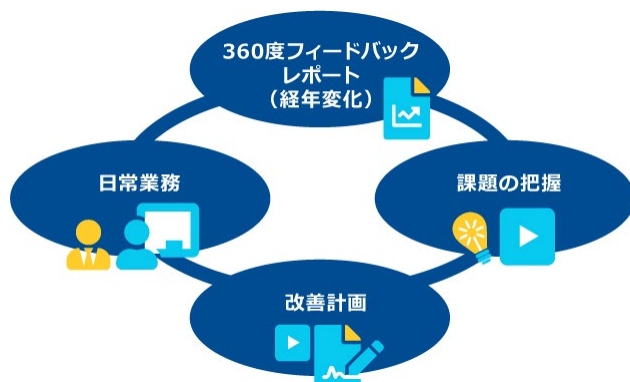
メジャーバージョンアップの目的

ミドルマネジメント層の自律的な学習サイクルと組織課題の特定をサポート

昨今の日本企業を取り巻く環境では、市場変化が激しくなり、今まで以上のスピード感をもって事業を変革していくことが求められています。その中で、中核となるミドルマネジメント層の役割がより大きくなってきています。ミドルマネジメント層の育成はどの企業でも重要視されていますが、しかしながら一人ひとりの能力開発について効果的な手が打てていないというのが実情です。事業の中核となる彼らは、新しい方針の浸透や事業のイノベーション、社員のエンゲージメントに大きな影響を与えています。そのため、**自律的な学習サイクルの構築と、マネジメント層に起因する組織課題の特定が急務**となっています。

360度評価は、上長・同僚・部下など複数の視点から「対象者の日常行動に対する評価」を集計、本人と他者の認識ギャップを可視化します。また、相互がフィードバックし合うオープンな組織風土の醸成、エンゲージメント向上にも影響があります。**社員から、マネジメント層に対する声を収集、分析し、組織的な課題を把握して対処する上で、360度評価は効果的**です。

今回のシステムバージョンアップデートでは、役割、経験、特徴が異なるミドルマネジメント層一人ひとりが自律的に課題に気づき、行動改善に取り組めるサポートが必要と考え、**自律的な学習サイクルを支援する動画プログラムと、人材・組織課題の特定に役立つ組織分析・比較ツールをリリース**しました。



▲“気づき”のサポートプログラム

スマレビ for 360°とは？

業界トップクラスの導入実績を誇る360度評価システムの決定版

「スマレビ for 360°」は、リピート率95%、年間回答人数約80万人以上が利用するクラウド型の人事システムです。360度評価は、一緒に働く他者からのフィードバックのため納得性が高く、本人に“気づき”を与える上で効果的な人材育成の手法です。スマレビは、シンプル且つわかりやすく360度評価の効果を提供するとともに、お客様目線に立ち、回答者と人事部の負担を軽減する様々な機能を標準搭載。複数人分回答をまとめて行える回答画面や、回答者の設定や回答状況の把握、結果レポートの自動生成など、工数を削減しつつ最大限の運用効果が得られるシステムとして多くの企業に選ばれています。

新機能① “気づき”のサポートプログラム

『回答・レポート返却と読み解き・行動改善』ノウハウを解説した動画で学習サイクルをサポート

360度評価の回答者や対象者が行う回答やレポートの読み解きについて、動画で解説する機能が加わりました。360度評価を導入・運用する際の組織全体の目的設定や理解を深め、対象者が自ら気づきを得て行動改善につなげていくための支援プログラムとなっています。

①回答のポイント動画：360度評価に回答する方に、回答前にマイページより閲覧を促します。なぜ360度評価をするのか、どういう観点で他者に回答をしたらいいかなどを解説しています。

②レポートの読み解き方動画：フィードバックレポートの返却前に閲覧を促し、レポートをどういうふうに見ればよいかなどを解説しています。

③行動改善シートの提供・解説動画：フィードバックレポート返却後、対象者が読み解いた結果を今度どう行動にアウトプットするか考えるための行動改善シートをPDFで提供、その活用方法を動画でまとめています。

④フィードバック面談の進め方動画：部下の気づき、行動改善サイクルを深めるため、レポートをどう部下と共に読み解いていくか、上司のフィードバック方法を解説しています。



▲回答のポイント動画

新機能② 組織課題の特定を支援する組織レポート

360度評価結果を組織全体や部署単位で集計。設問単位で部署間、個人間の比較分析も可能に

「スマレビ for 360°」の管理画面から、個人のフィードバックレポートのみならず、組織単位での分析ができるようになりました。組織の全体傾向把握や、部署ごとに課題となる項目の洗い出し、個人の設問別比較が可能となります。

①全体集計レポート：対象者全体の集計が確認できます。特に上長・同僚・部下など回答ごとに強みと課題の傾向を分析できるようになり、層の違いによるギャップを可視化、より詳細な課題特定ができます。

②各種比較レポート(有料オプション)：分析したい設問ごとに部門や部署、個人単位で他者点数構成の比較が可能です。例えばハラスメント設問などで、高い得点の部署や個人を洗い出し、人材戦略で活用することができます。

シーベースでは今後もクライアントの声に耳を傾けながらシステムを開発し、安心、安全、有用なサービスの提供を目指していきます。



◀本人回答と他者回答の平均を中心軸に置き、強みと課題を4象限で分析。回答層ごとにソートができ、詳細な課題分析が可能

設問単位で部署などの属性、個人、経年で比較が可能。ピンポイントな課題特定ができる

個人	他者点数構成比 (%)				他者回答平均	上長平均	部下平均	同僚平均
	1	2	3	4				
全体平均	12%	43%	38%	7%	3.21	2.93	3.59	4.14
藤田 太郎	22%	25%	45%	8%	4.12	-	4.00	4.14
渡辺 花子	26%	36%	37%	1%	3.94	3.50	4.14	-
山口 裕子	46%	37%	15%	2%	3.78	3.67	3.83	-